エネミエール S（通信機能付）

商　品　仕　様　書

No　1

全　29

1. 商品名　　エネミエール S（通信機能付）

2. 品名・品番

本体部材

品　番	品　名	備　考
BT3740K	エネミエール S（通信機能付）	

システム構成部材

品　番	品　名	備　考
BT37065K	50A CT	
BT37061K	100A CT	
BT37062K	250A CT	
BT37064K	400A CT	
BT37066K	600A CT	
BT3705	5A CT	
BT3705WH	/5A CT	環境耐性強化タイプ ※1
BT37231	CTケーブル	1m
BT37232	CTケーブル	2m
BT37235	CTケーブル	5m
BT372310	CTケーブル	10m
BT372320	CTケーブル	20m
BT372310WH	CTケーブル	10m（環境耐性強化タイプ）
BT372320WH	CTケーブル	20m（環境耐性強化タイプ）
BT372330WH	CTケーブル	30m（環境耐性強化タイプ）
BT372350WH	CTケーブル	50m（環境耐性強化タイプ）
BT37242	パルス入力ケーブル	2m

※1　強磁界環境などでご使用ください。

CTケーブル長さ10m以上の場合、
品番末尾「WH」のCTケーブルとの組み合わせでご使用ください。

変更年月日	来　歴	制定日	2009年11月21日							
2011/09/21	SDHCメモリーカード、/5ACT対応等の為	G M		参事		検印		作成	
2012/01/01	社名変更の為									
2014/04/01	CT変更の為									

パナソニック株式会社

3. 免責事項

◎下記の場合、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

◆本製品を課金目的の計量器としてご使用された場合。
本製品は省エネ目的の自主管理商品であり、
計量法の定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありません。

◆本製品の故障により記憶されたデータが消失・破損した場合。

◆本製品の設定の誤りから生ずる付随的な損害を生じた場合。
（事業利益の損害、事業の中断など）

◆取扱説明書で説明された以外の使い方により損害を生じた場合。

◆当社の了承がなく本製品の構造・性能・仕様などの改造を行なったことにより
損害を生じた場合。

◆当社の了承がなく日本国外で使用された場合。
本製品は日本国内で使用されることを前提に設計・製造されています。
外国為替および外国貿易法の規定により戦略物質など（または役務）に該当するものについては当社の了承および日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）なく
輸出はできません。

◆高い安全性が要求される用途として使用されたことにより損害を生じた場合。
医療機器や人命に直接または間接的に関わるシステムなどには使用できません。

4. 計測仕様

定格 入力電圧		単相2線・単相3線：100／200 V 三相3線：110、220 V
許容電圧範囲		AC100－240 V（－15%、＋10%）
定格入力電流		5 A／50 A／100 A／250 A／400 A／600 A CT /5 ACTは、2次側5 A定格の汎用CTと組合わせて使用する
パルス 入力	入力方式	無電圧a接点またはオープンコレクタ
	接点条件	DC10 V、10 mA以上
	オープン コレクタ 条件	リーク電流1 mA以下
	パルス条件	パルスON、OFF時間　30 msec以上 許容チャタリング　3 msec以下 かつ　毎時32000パルス以下 （※パルス重みをかけた場合、表示の上限は99999. 9/毎時）
相線式		単相2線式・単相3線式／三相3線式
計測要素と 回路数		瞬時電力／積算電力／電圧／電流／力率：1回路 パルス数　：1回路
計測要素		瞬時電力／積算電力／電圧／電流／力率／パルス数
精度 ※1 ※2	瞬時電力	±2. 0 %（定格に対して）
	積算電力	±2. 0 %（定格の5～100 %範囲、力率1）
	電圧、電流	±1. 0 %（定格に対して）
	力率	±3. 0 %（定格に対して）※3
時計精度		約±1 分／月差（周囲温度25℃時） （時計の自動補正機能選択可）

※1） CT誤差含まず。（CT単体：比誤差±1 %、位相差±1 度）
※2） 次の箇所を計測する場合には、計測仕様の許容誤差範囲を超えることがあります。
・電流値が極端に小さい箇所
・電流が歪んでいる箇所
・力率が低い箇所
・強磁界がある箇所
※3） 力率演算は平衡負荷を前提とした方式です。
不平衡負荷では力率の誤差が大きくなる場合があります。

5. データ仕様

自動ロギング	・保存データ　：積算電力、パルス積算 ・内部メモリーに『時間別』最新65日分、『日別』最新1年分、 『月別』最新3年分と平均電力の最新65日分を保存します。 ・SDメモリーカードに、次のファイルを作成 時間別の積算電力／パルス積算の1ヶ月単位データファイル 日別の積算電力／パルス積算の1ヶ月単位のデータファイル ・SDメモリーカードを差込むと、その時点で内部メモリーに データがあれば今月・先月分が取出せます。 ・SDメモリーカードを挿入したままロギングすると、 そのメモリー容量まで保存します。（毎正時(0分)に書き込み）
詳細ロギング	・保存データ：回路ごとの電圧、電流、電力、電力量およびパルス量 ・本体内部メモリーに最新1日分を保存します。 ・SDメモリーカードを差込むと、その時点で内部メモリーにデータが あれば最新1日分が取出せます。 ・SDメモリーカードを挿入したままロギングすると、 そのメモリー容量まで保存します。（毎正時(0分)に書き込み）
SDメモリーカード	動作確認済みSDメモリーカード Panasonic製　SDHC/SDメモリーカード 2～32GB　（2014年4月現在） ※UHS規格対応のSDHCメモリーカードも使用できますが 高速転送機能には対応していません。 ※1ヶ月分のデータ容量　約6MB 保存可能データ ・自動ロギングデータ ・詳細ロギングデータ
お知らせ機能 注）パルス入力には 対応していません	目標値モード(月間)、簡易デマンドモード（30分時限、※2）、 従量パルスモード、お知らせ機能OFF　を選択式にて切替 ※CT入力(電力測定）のみに対応。お知らせ機能は、パルス入力には 対応していません。
目標値モード	・月間目標を自動又は手動で設定 ・月間目標に対して、1分毎に判定 ・ECO/デマンドシグナルおよび接点出力にて報知
簡易デマンド モード　※2	・30分時限固定 ・設定目標に対して1分毎に判定 ・ECO/デマンドシグナルおよび接点出力にて報知
従量パルス モード	・設定した積算電力に達するごとにパルス出力(接点出力にて報知) ・毎秒最大4パルスまで ・パルス幅125 ms(周期250 ms)
停電補償	200時間(バックアップ用電池満充電時) ※出荷時に専用バックアップ電池を添付（交換可能）

※1、2）　簡易デマンド機能は、目安としてお使いください。
内蔵時計のズレ等により、電力会社の受電電力とは異なる場合があります。

6. 定格仕様

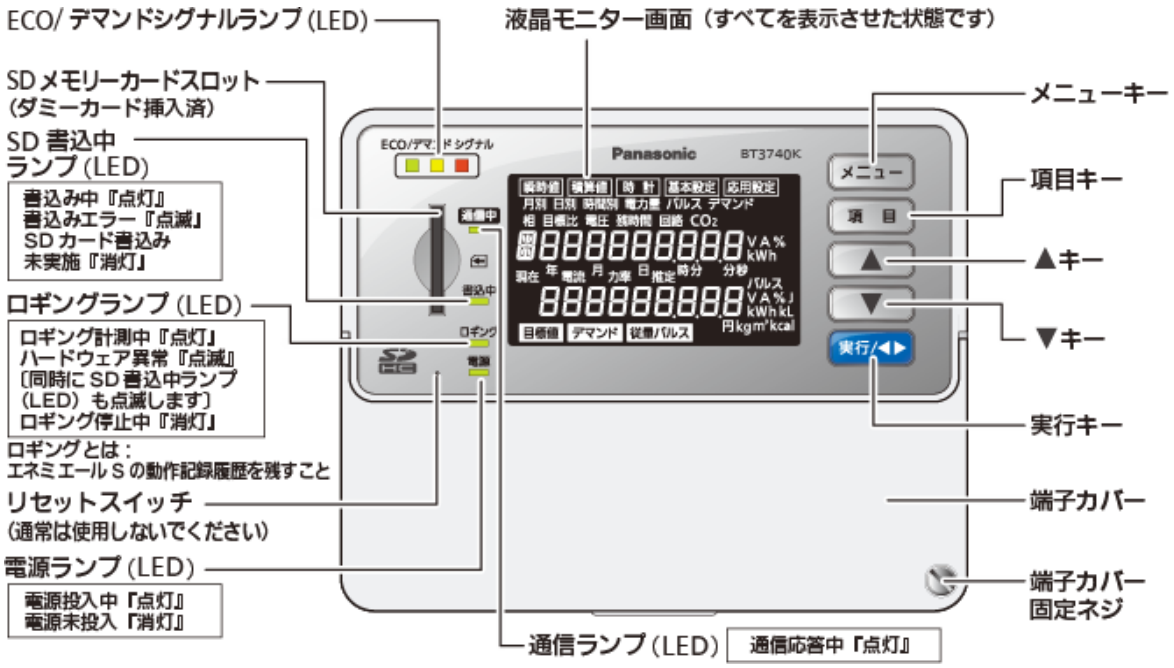
電　源	AC100－240 V　　50/60 Hz
CTケーブル	1、2、5、10、20、30、50 m
パルス入力ケーブル	2m （総延長距離100 mまで）
接点出力	・無電圧a接点（PhotoMOSリレー出力） ・接点容量：AC/DC　100 V　0. 2 A（抵抗負荷）
使用周囲温度 （相対湿度）	－10～＋50 ℃（80%Rh以下　ただし結露なきこと）
消費電力	4 W （8 VA）
絶縁抵抗	DC500 Vメガーにより測定したとき、各部100 MΩ以上 測定箇所：充電部と外郭 ※1）充電部間の絶縁抵抗測定はしないでください。 ※2）盤組込時等にライン(R、N、T)～大地間の絶縁抵抗測定を行う時には、本器のPE端子に接続している線を外してください。故障する場合があります
耐電圧	AC1500 V1分間印加したときに異常なきこと。 測定箇所：充電部と外郭 ※1）充電部間の絶縁抵抗測定はしないでください。 ※2）盤組込時等にライン(R、N、T)～大地間の耐電圧試験を行う時には、本器のPE端子に接続している線を外してください。故障する場合があります。
取付方法	ネジどめ、磁石取り付け
重　さ	450 g（SDメモリーカード含まず）

7. 通信仕様

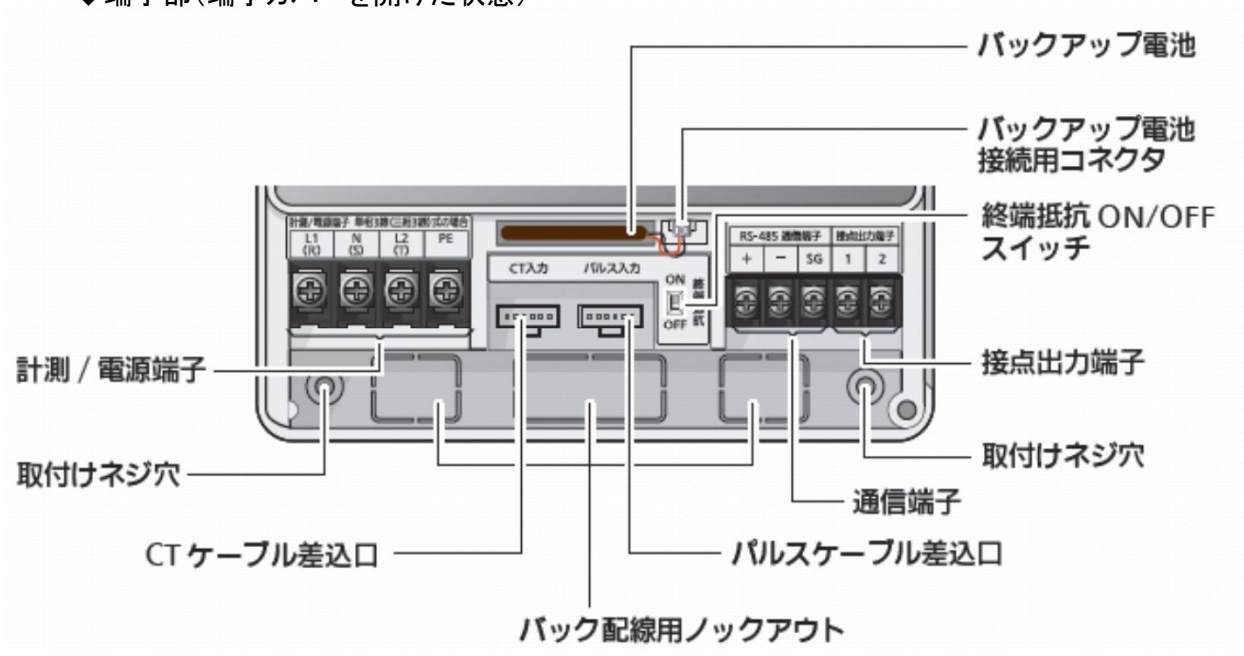
電気的仕様	RS-485に準拠
通信プロトコル	MEWTOCOL、EMIT
絶　縁	内部回路と絶縁
最大接続台数	最大31台(ただし上位システムの仕様により制限される)
伝送距離	最大800 m(ただし上位システムの仕様により制限される)
伝送速度	4800 bps、9600 bps、19200 bps、38400 bps
終端抵抗	本体に内蔵(終端抵抗ON/OFFスイッチで切替え選択)

・パソコンを接続しデータ収集するには、必ず専用の上位システムが必要です。
（接続方法など詳細は上位システムの仕様をご確認ください）
・通信方式と通信速度の設定は、上位システムの仕様に合わせてください。
ネットワークアドレスは、上位システムが対応している範囲内で
システムに応じた設定をしてください。
・EMITについては上位システムの仕様書などをご確認ください。
MEWTOCOLの詳細については取扱説明書をご参照ください。
・電力管理名人Sの対応バージョンは、ver2以降(BT3727S2)です。
電力管理名人Sについては、仕様書等をご確認ください。

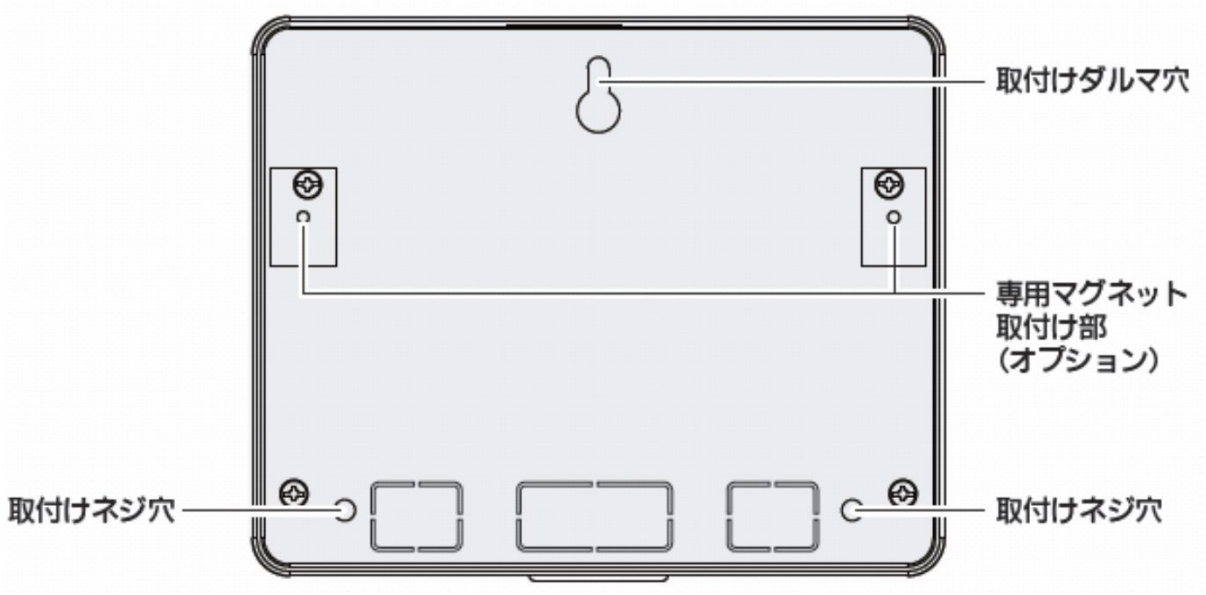
8. 各部の名称



◆端子部（端子カバーを開けた状態）



◆裏面



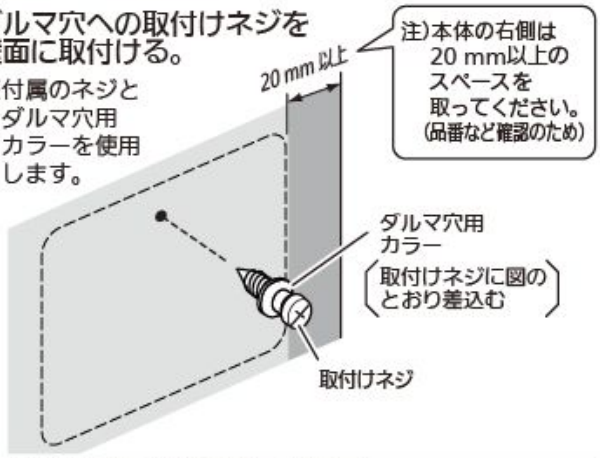
9. 施工方法

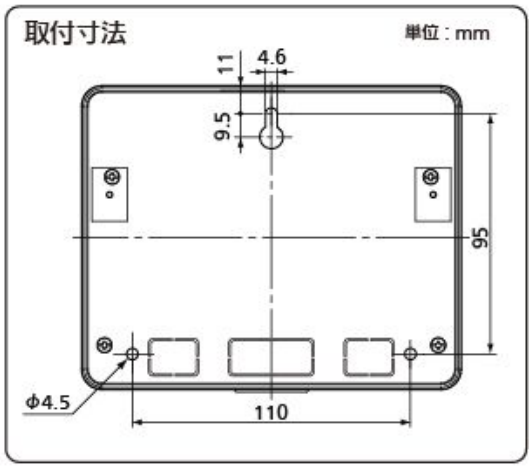
9. 1 設置方法

■壁面への取付け

①ダルマ穴への取付けネジを壁面に取付ける。

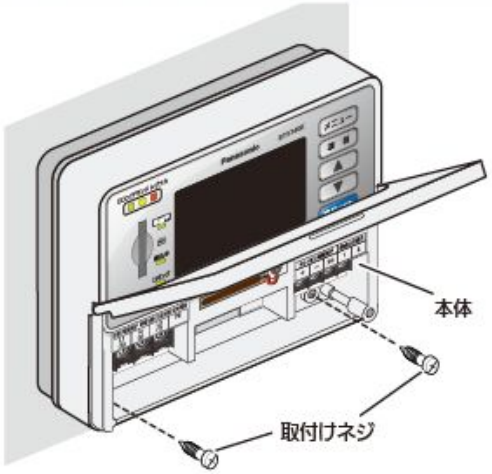
※付属のネジとダルマ穴用カラーを使用します。





②本体を取付けネジに引っ掛ける。

③本体下部 2 ヵ所をネジで固定する。



※水平位置を決め、付属のネジで確実に固定してください。

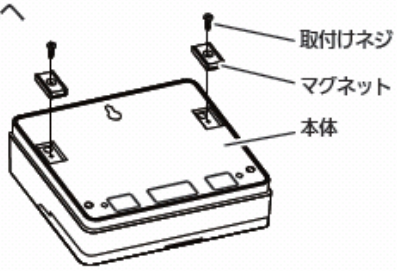
マグネットによる取付け（オプション）

注）マグネットによる取付けは、あくまで仮設置を想定しています。
仮設置環境、仮配線に対しての安全対策を確実に行ってください。
常設設置の場合は安全のため必ずネジで固定してください。

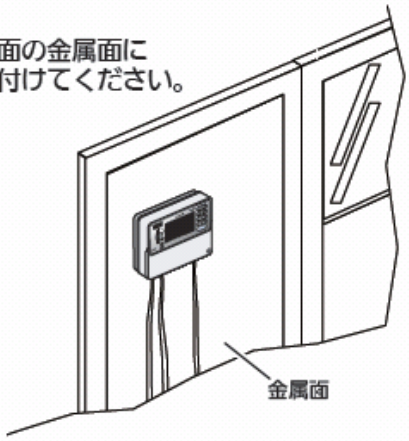
◆別売のマグネットをご用意ください。

・エネミエール S用マグネット（2コ入）
品番：BT37697001

①本体裏面の取付け部へ
ネジで固定します。



②壁面の金属面に
取付けてください。

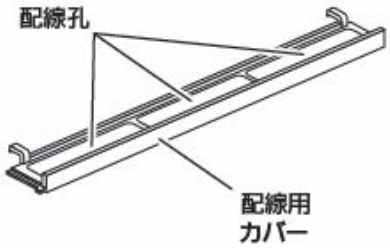


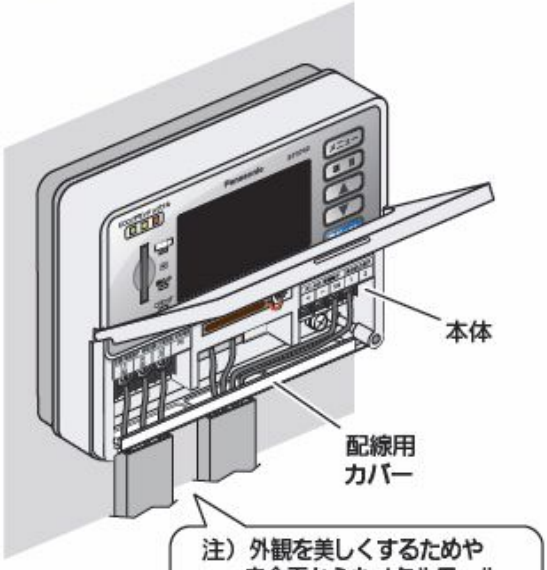
■配線方法

注）計測/ 電源端子への配線（強電部）とCT ケーブルはできるだけ離して配線してください。
（ノイズの影響を受け、計測仕様の許容誤差を超えることがあります）

◆下方配線の場合

※配線用カバーを取外し、配線孔を
切り抜いて通線してください。

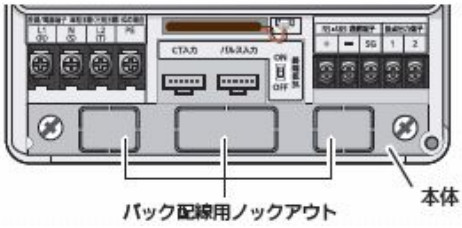


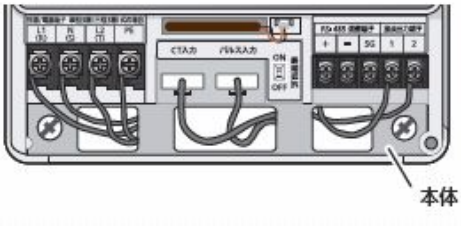


注）外観を美しくするためや
安全面からもメタルモール
などで露出配線を処理して
ください。

◆バック配線の場合

※本体下部のノックアウトを
打ち抜いて通線してください。





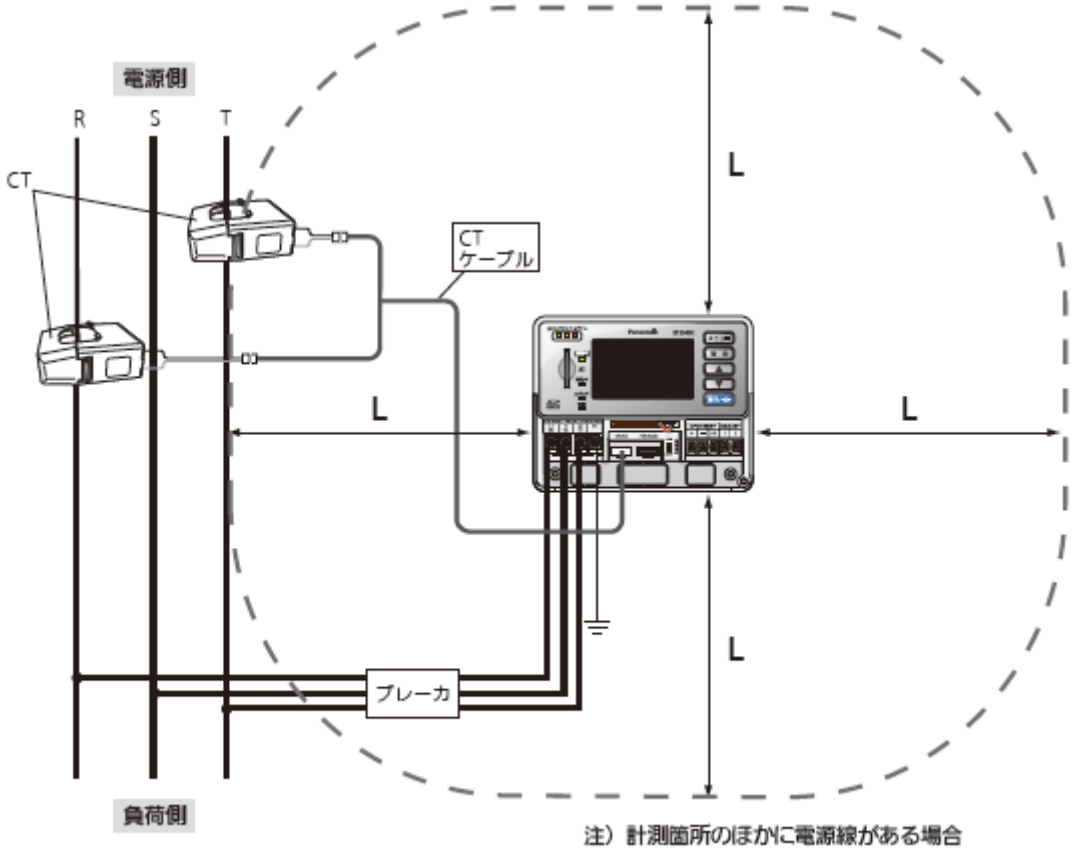
9．2 設置時の注意事項

600 A CTをご使用の場合、
/5 A CTを別のCTと組合せた2段目としてご使用の場合、
エネミエール S 設置時は下記にご注意ください。

＊600 ACTをご使用の場合、または初段CTの定格電流を「600 A」以上に設定する場合、計測箇所電流部が強磁界と想定されるため計測仕様の許容誤差範囲を超えることがあります。
強磁界対策のため、下表に従いエネミエール S と計測箇所電源部を離して設置してください。

初段CTの定格電流設定		600 A (600 A CT設定)	750 A	1000 A	1500 A	2000 A	5000 A	8000 A	10000 A	20000 A	30000 A
エネミエール Sと計測箇所電源部との必要距離:L ＊注）	600 A CT 使用時 (BT37066K)	10 cm 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 A CT 使用時 (BT3705)		15 cm 以上	20 cm 以上	25 cm 以上	35 cm 以上	85 cm 以上	1.4 m 以上	1.7 m 以上	3.4 m 以上	5.0 m 以上
	/5 A CT 使用時 (BT3705WH)	10 cm 以上					30 cm 以上	50 cm 以上	70 cm 以上	1.2 m 以上	2.0 m 以上

＊注）CT定格電流値＝計測箇所の最大電流値　の場合

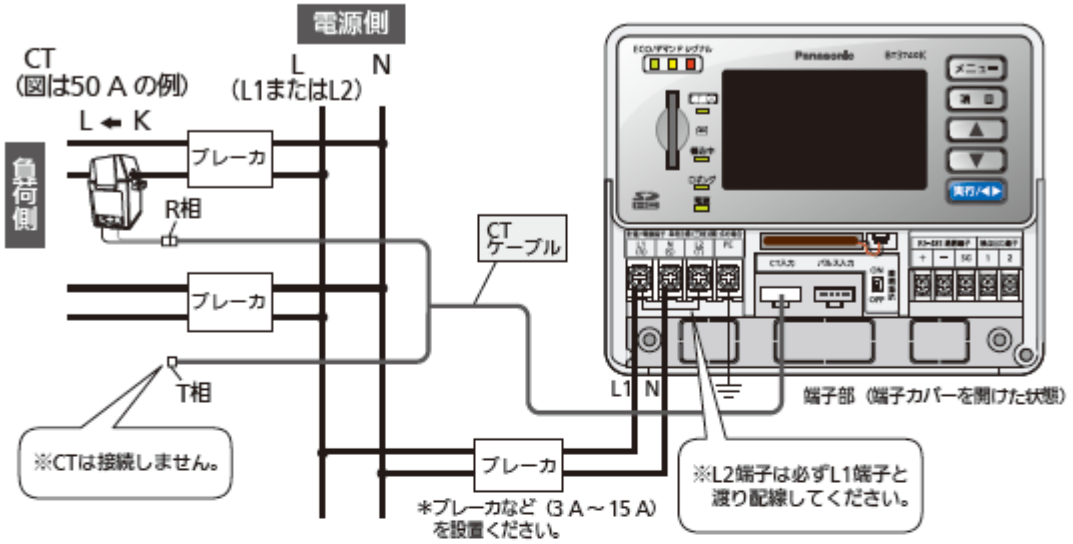


注）計測箇所のほかに電源線がある場合
同様の距離が必要です。

9．3　結線方法

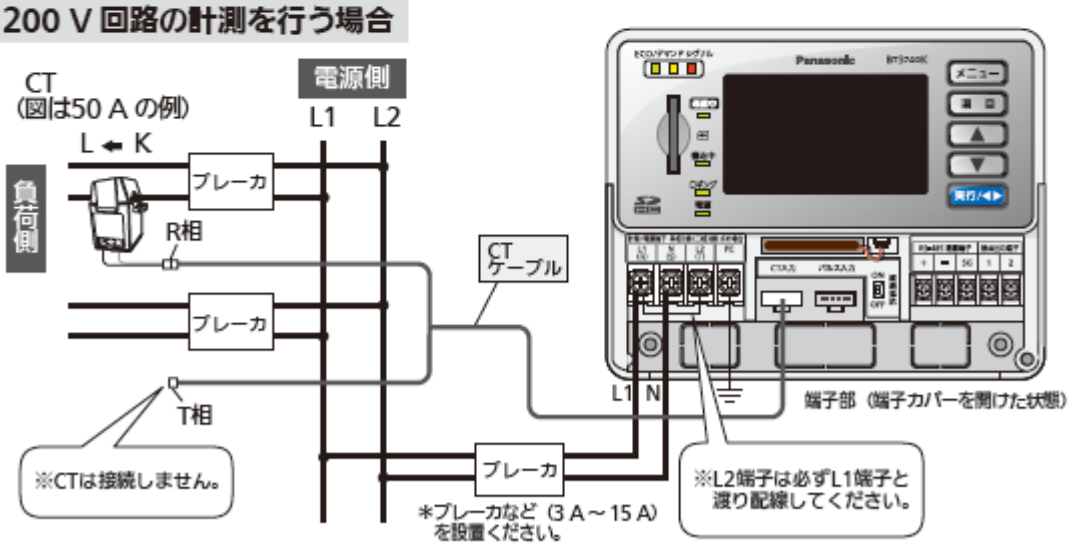
■電圧入力／単相２線式

100 V 回路の計測を行う場合



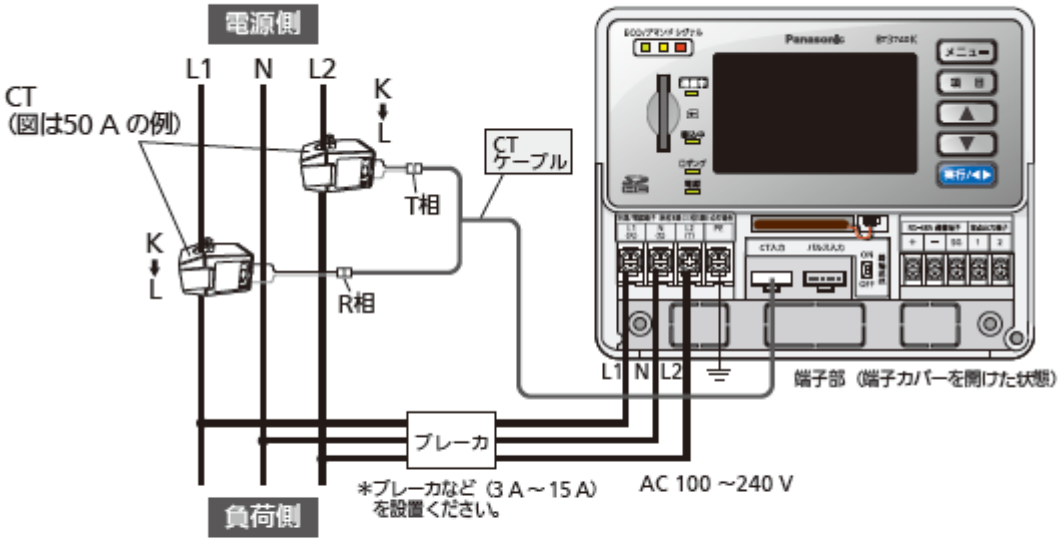
注）1.CT は必ず L（L1 または L2）側へ取付けてください。
2.CT の取付け方向にご注意ください。（K= 電源側　L= 負荷側）
3. 計測 / 電源端子（M3.5）へは適正締付トルク（0.7 N·m）で確実に接続ください。
4. 計測 / 電源端子への配線（強電部）と CT ケーブルはできるだけ離して配線してください。
（ノイズの影響を受け、計測仕様の許容誤差を超えることがあります）
5.CT ケーブルの配線は分電盤の扉などで挟まないようにしてください。（断線のおそれがあります）

200 V 回路の計測を行う場合



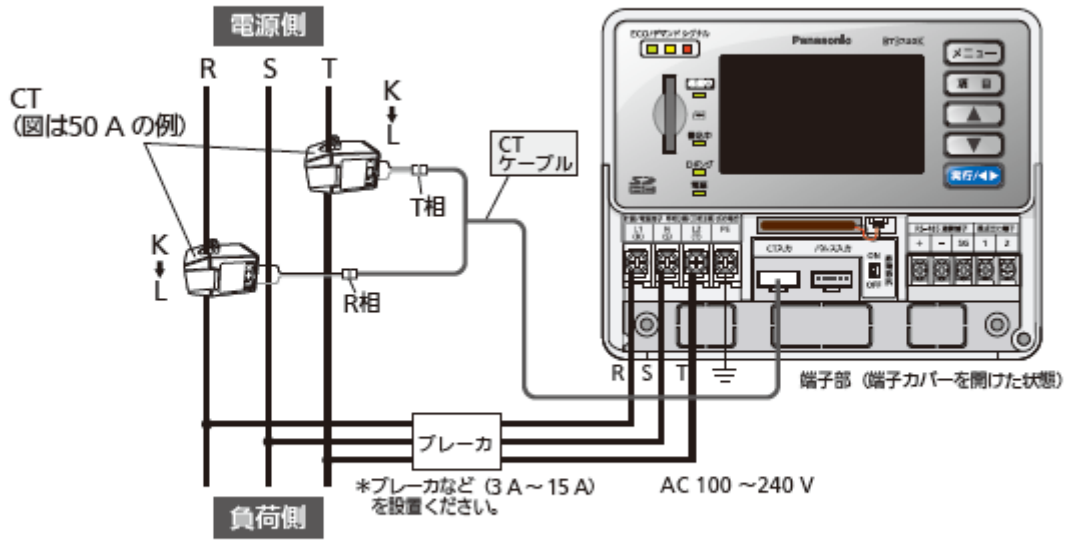
注）1.CT は必ず L1 側へ取付けてください。
2.CT の取付け方向にご注意ください。（K= 電源側　L= 負荷側）
3. 計測 / 電源端子（M3.5）へは適正締付トルク（0.7 N·m）で確実に接続ください。
4. 計測 / 電源端子への配線（強電部）と CT ケーブルはできるだけ離して配線してください。
（ノイズの影響を受け、計測仕様の許容誤差を超えることがあります）
5.CT ケーブルの配線は分電盤の扉などで挟まないようにしてください。（断線のおそれがあります）

■電圧入力／単相 3 線式

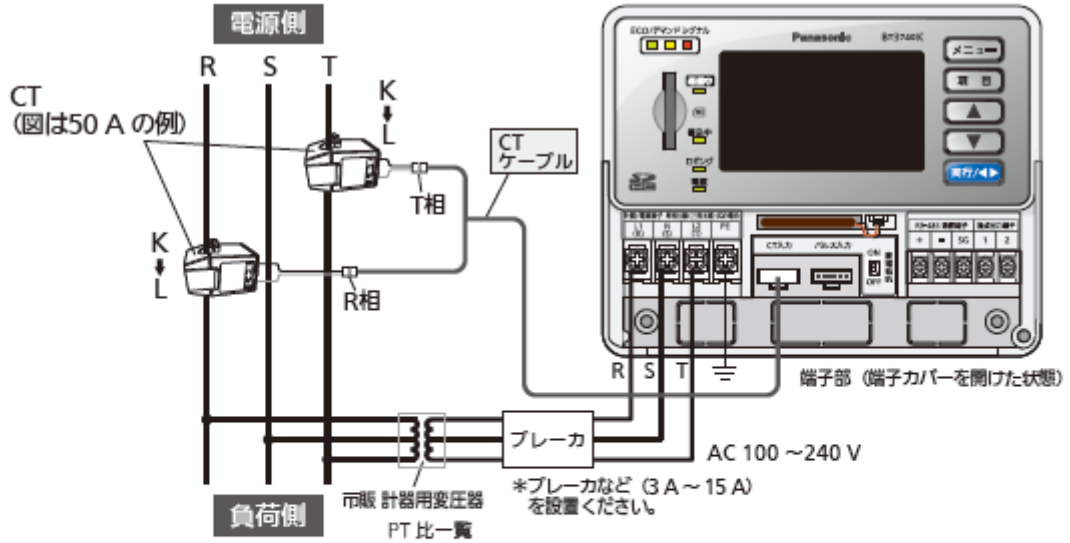


注）1. 各 CT は同じ定格のものを使用してください。
2.CT の取付け方向にご注意ください。（K= 電源側　L= 負荷側）
3. 計測 / 電源端子（M3.5）へは適正締付トルク（0.7 N·m）で確実に接続ください。
4. 計測 / 電源端子への配線（強電部）と CT ケーブルはできるだけ離して配線してください。
（ノイズの影響を受け、計測仕様の許容誤差を超えることがあります）
5.CT ケーブルの配線は分電盤の扉などで挟まないようにしてください。（断線のおそれがあります）

■電圧入力／三相 3 線式



三相 3 線式で計器用変圧器を使用する場合



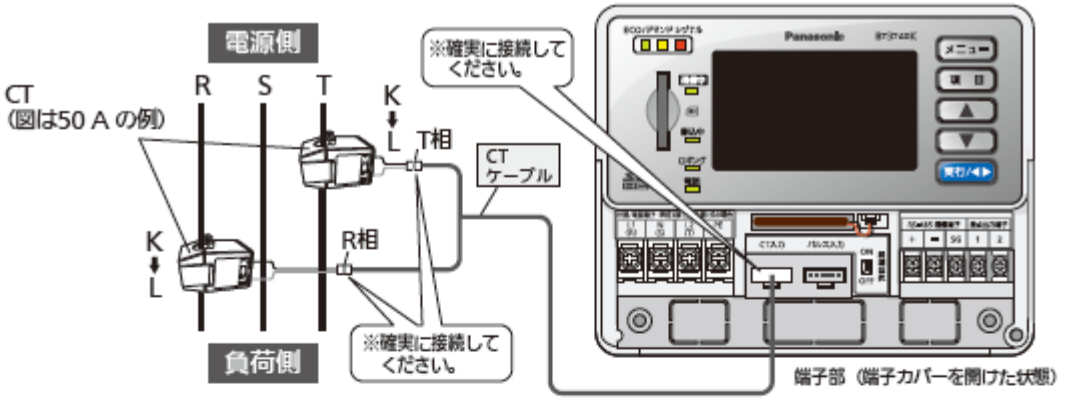
PT 比一覧

1/√3、1/2、1/3、1/4～1/99、1/100、1/200、1/300、1/700

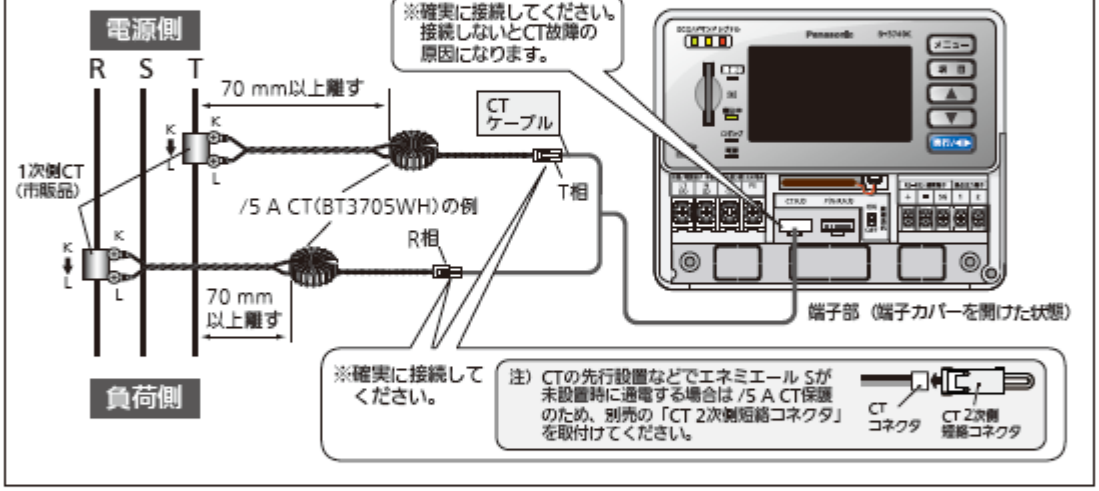
注）1. 各 CT は同じ定格のものを使用してください。
2. CT の取付け方向にご注意ください。（K= 電源側　L= 負荷側）
3. 計測 / 電源端子（M3.5）へは適正締付トルク（0.7 N·m）で確実に接続ください。
4. 計測 / 電源端子への配線（強電部）と CT ケーブルはできるだけ離して配線してください。
（ノイズの影響を受け、計測仕様の許容誤差を超えることがあります）
5. CT ケーブルの配線は分電盤の扉などで挟まないようにしてください。（断線のおそれがあります）

9．4　CT･CTケーブル接続方法

50～600 A CT 接続の場合

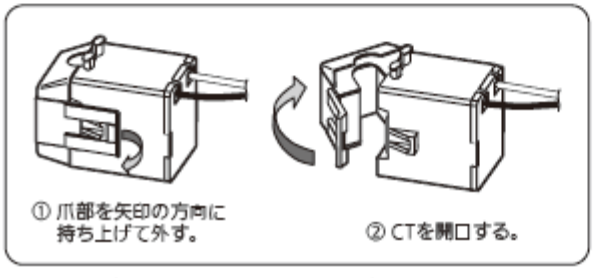


/5 A CT 接続の場合



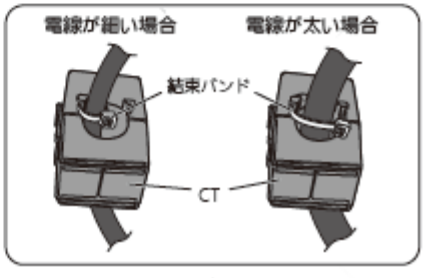
CT の開口方法

CTの開口は下の手順で行ってください。(/5 A CTは開口できません)
閉じるときは逆の手順で行ってください。
また、コア(金属)の面に異物が付かないようにご注意ください。



CT の固定方法

接続後、CTの固定は市販の結束バンドで
下図のように行ってください。

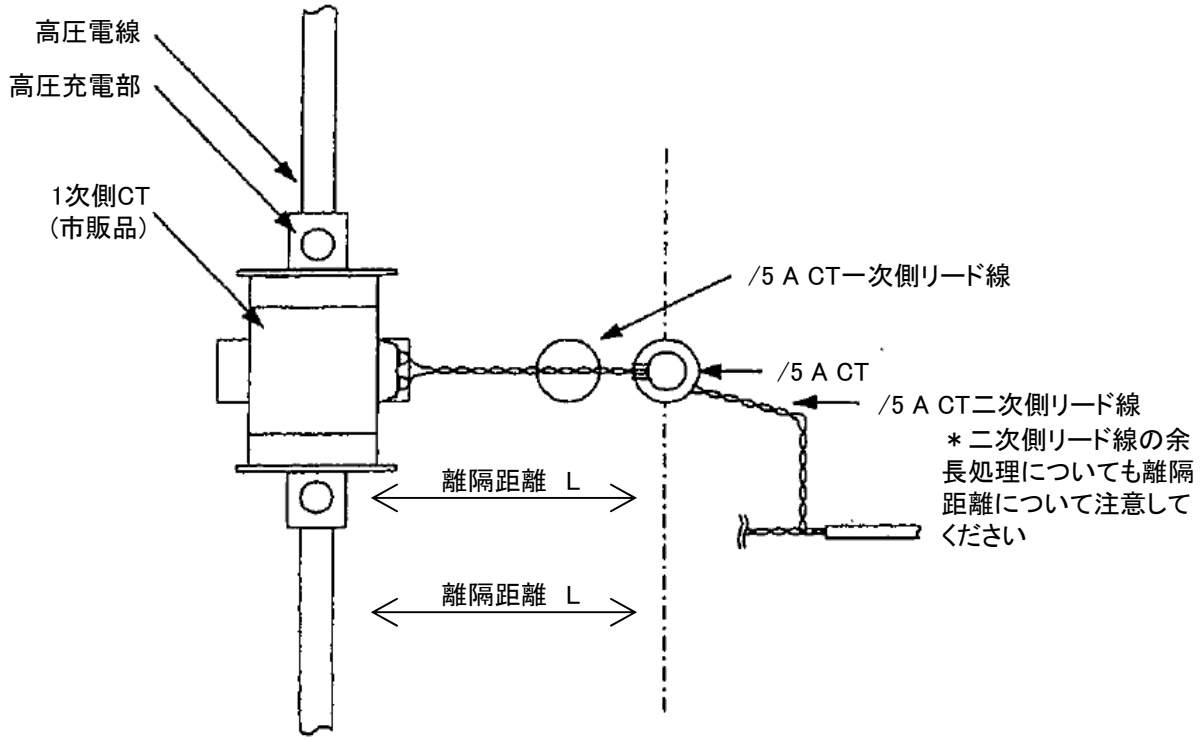


注）CT は導体が露出している箇所（分電盤のメイン渡りバーなど）には直接取付けないでください。

9．5　高圧部への/5 A CTの設置における注意事項

高圧部への/5 A CTへの設置におきましては、下記事項を注意し設置していただきますようお願い致します。

＊高圧部からの離隔距離の確保:
/5 A CTは低圧回路種別となります。高圧部に設置する場合は、離隔距離が十分取れるよう設置してください。また、そのリード線の配線についても結束バンド等で固定してください。



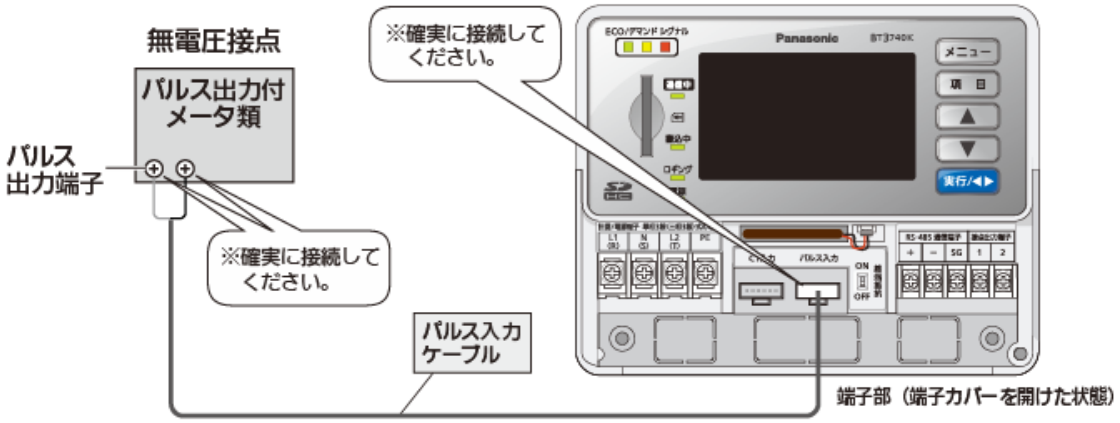
＊参考
高圧回路の絶縁距離:JIS　C　4620　参照

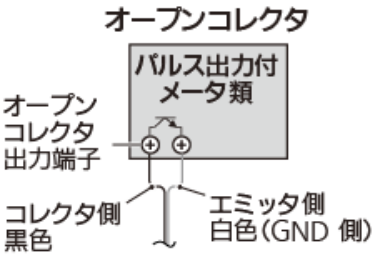
単位　mm

場所		最小絶縁距離 L
高圧充電部	相互間	90
	大地間(低圧回路含む)	70
高圧用絶縁電線非接続部	相互間	20
	大地間(低圧回路含む)	20

9．6　パルス入力･警報（接点）出力信号線の接続方法

■パルス入力信号線の接続





<ご注意>
パルス出力がオープンコレクタ方式の場合、コレクタ側に黒色
エミッタ側に白色のケーブルを接続ください。
※逆接続した場合常時ON状態になり、故障する可能性があります。

※パルス入力ケーブルを延長する場合

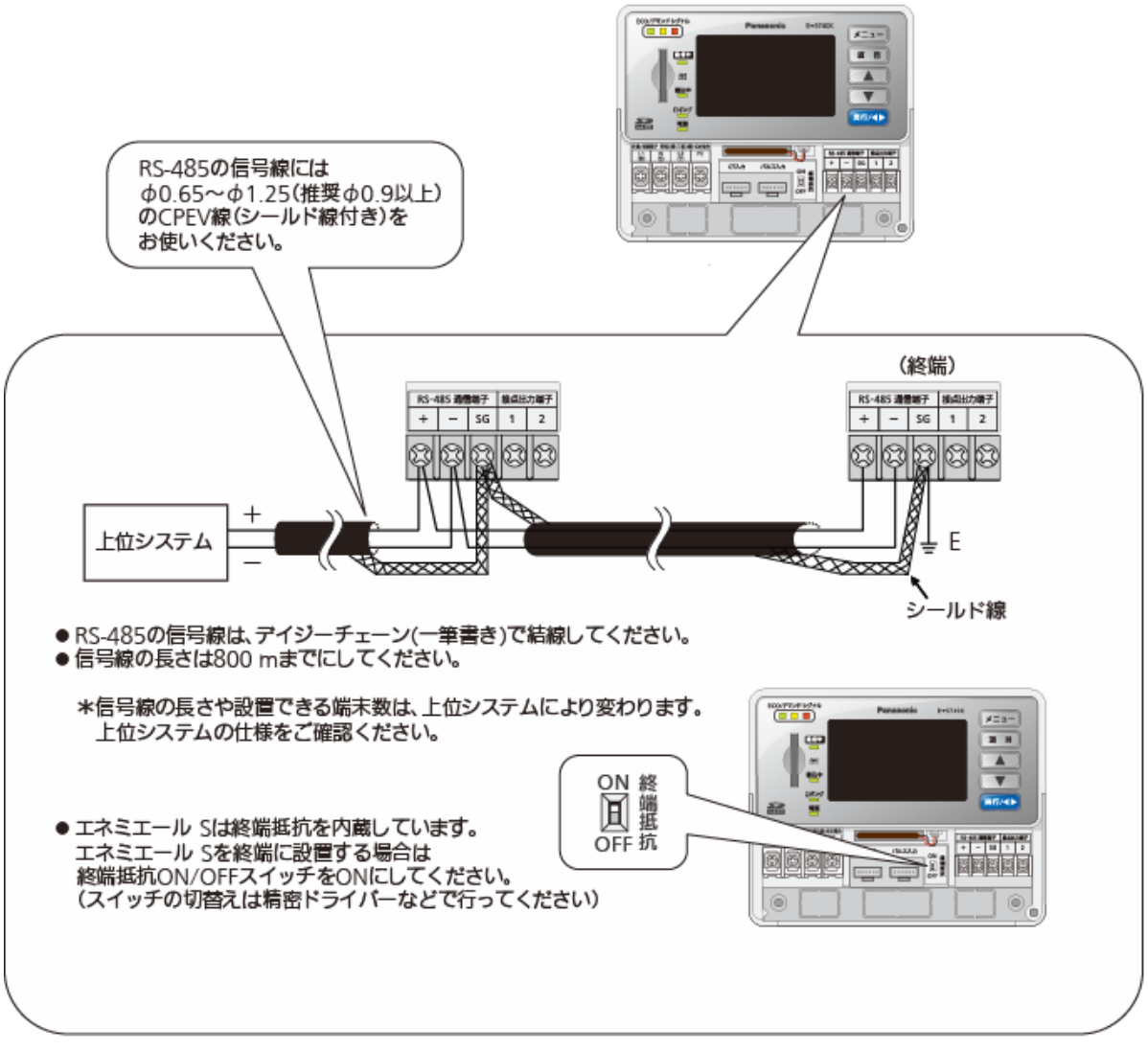
パルス入力ケーブルの丸圧着端子側を中継端子台などに接続し、中継端子台から
電線（別途KPEV 0.9 mm²以上などをご用意ください）を敷設してください。

- 総延長距離は100 mまでです。
- 電線径は0.9 mm²以上をご使用ください。

■警報出力（接点出力）信号線の接続

9．7　ネットワーク配線の接続方法（2線式専用）

ネットワークシステムとして使用するには、ネットワークの接続と通信設定が必要です。
下図のようにRS-485信号線を接続し、設定を行ってください。



- RS-485の信号線は、デイジーチェーン(一筆書き)で結線してください。
- 信号線の長さは800 mまでにしてください。

＊信号線の長さや設置できる端末数は、上位システムにより変わります。
上位システムの仕様をご確認ください。

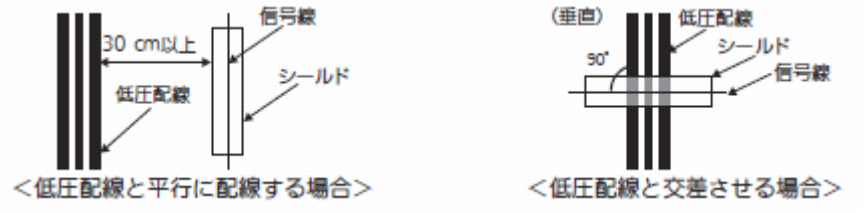
- エネミエール Sは終端抵抗を内蔵しています。
エネミエール Sを終端に設置する場合は
終端抵抗ON/OFFスイッチをONにしてください。
(スイッチの切替えは精密ドライバーなどで行ってください)

・通信端子(M3)適正締付トルク:0.6 N･m

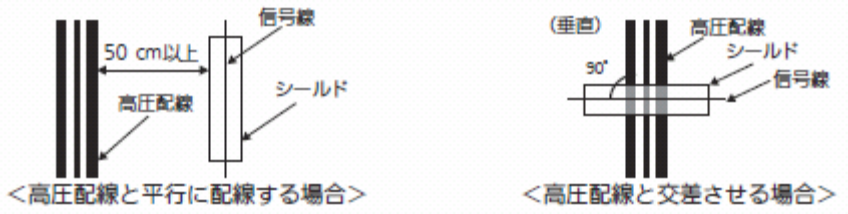
ご注意
1. ネットワーク配線（RS-485 信号線）は強電部（電源系配線）と
できるだけ離して配線してください。（ノイズ対策のため）
2. RS-485 のシールド線は終端の本体ユニット端子より一点接地してください。
（一点接地しないとノイズの影響により通信エラーが発生する場合があります）

9．8　CTケーブル、パルス入力ケーブルおよび電圧入力など配線時の注意事項

(1)低圧配線（AC600 V以下の配線）との併設
エネミエール Sへの計測入力となる電圧入力およびCTケーブル、パルス入力ケーブルの配線は信号線としてお取り扱いください。
低圧配線の電源ケーブルやノイズ発生源となるような負荷（インバータ負荷、高調波発生負荷）と接続される配線とは、併設および同配管による敷設工事は絶対におこなわないでください。
また、敷設工事される場合には、必ず低圧配線の電源ケーブルやノイズ発生源となるような負荷（インバータ負荷、高調波発生負荷）と接続される配線から30 cm以上離して配線ください。
また、低圧配線の電源ケーブルやノイズ発生源となるような負荷（インバータ負荷、高調波発生負荷）と接続する配線と信号線とを交差させる場合は、必ず垂直に交わるようにしてください。



(2)高圧配線（AC600 V超過の配線）との併設
エネミエール Sへの計測入力となる電圧入力およびCTケーブル、パルス入力ケーブルの配線は信号線としてお取り扱いください。
高圧配線の電源ケーブルやノイズ発生源となるような負荷(インバータ負荷、高調波発生負荷）と接続される配線とは、併設および同配管による敷設工事は絶対におこなわないでください。
また、敷設工事される場合には必ず高圧配線の電源ケーブルやノイズ発生源となるような負荷（インバータ負荷、高調波発生負荷）と接続される配線から50 cm以上離して配線ください。
また高圧配線の電源ケーブルやノイズ発生源となるような負荷（インバータ負荷、高調波発生負荷）と接続する配線と信号線とを交差させる場合は、50 cm以上離して、かつ必ず垂直に交わるようにしてください。



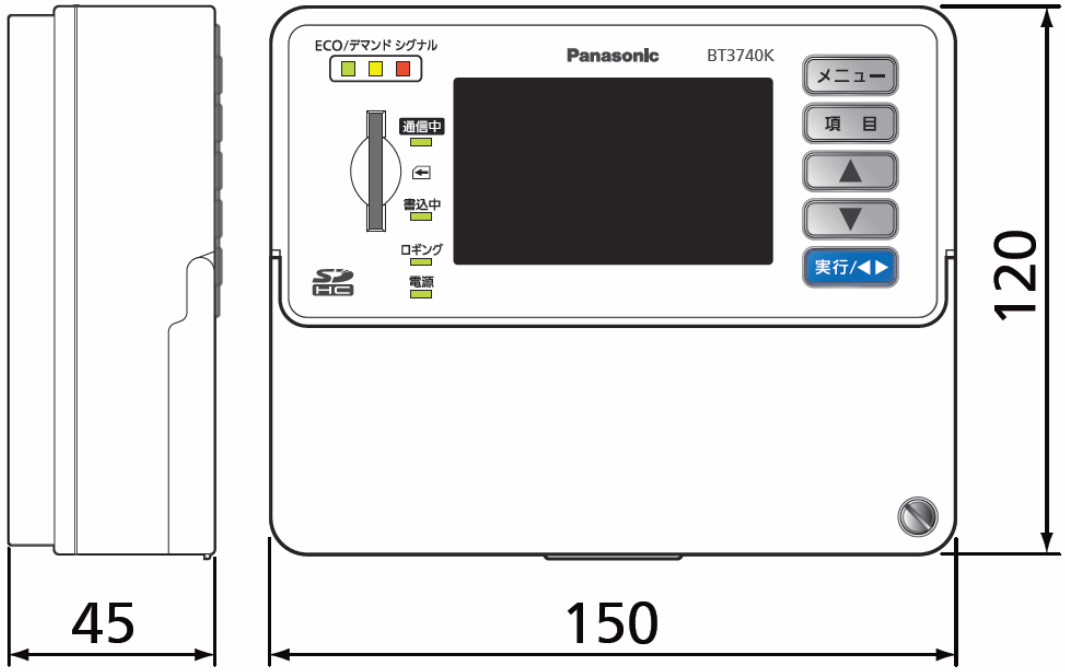
(3)配管などのダクトに収納する場合の配線について
低圧配線、高圧配線と併設される場合は、電圧入力、CTケーブル、パルス入力ケーブルについては低圧配線、高圧配線とは別配管としてください。

●お願い
上記の注意事項を必ずお守りください。
電圧入力、CTケーブル、パルス入力ケーブルを低圧配線、高圧配線の電源ケーブルなどやノイズ発生源となるような負荷（インバータ負荷、高調波発生負荷）と接続される配線などと併設した場合には、ノイズなどの影響で計測値に誤差を発生する場合やエネミエール Sの動作に影響する場合がありますのでご注意ください。

10. 外形寸法

10. 1 エネミエール S（通信機能付）（本体）

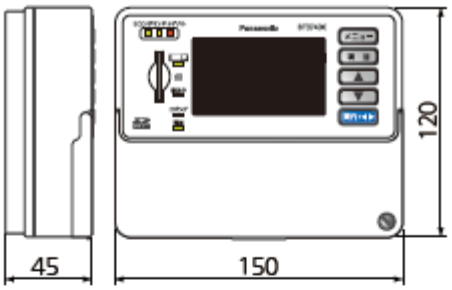
（単位　mm）



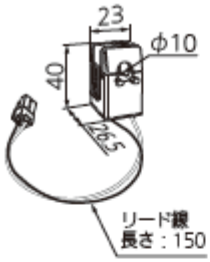
10．2 システム構成部材

（単位 mm）

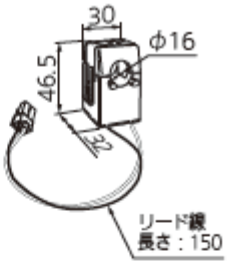
本　体



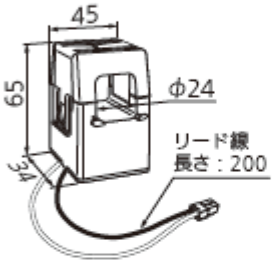
50 A CT



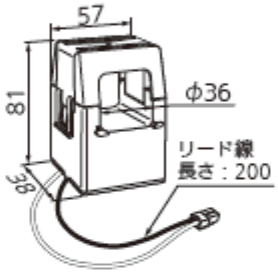
100 A CT



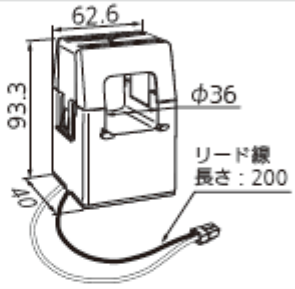
250 A CT



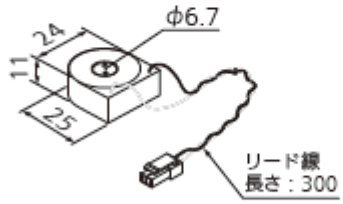
400 A CT



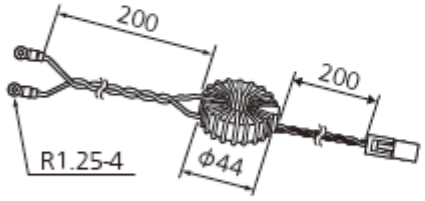
600 A CT



5 A CT

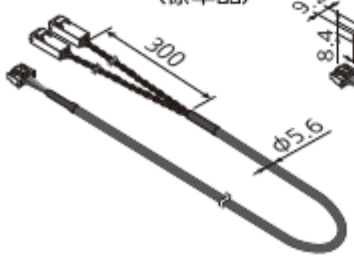


/5 A CT「環境耐性強化タイプ」

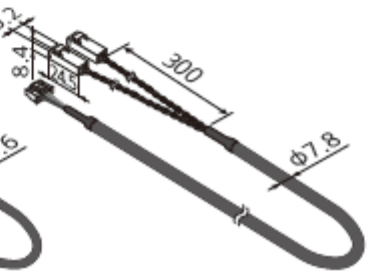


CTケーブル

長さ :1,2,5,10,20 m
（標準品）

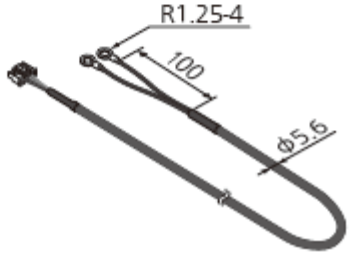


長さ :30, 50 m



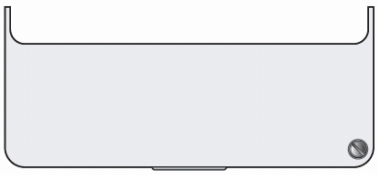
パルス入力ケーブル

長さ :2 m

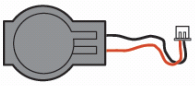


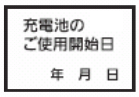
10．3 補修パーツ(別売)

● 端子カバー　（品番：BT3730886）



● 交換用バックアップ電池　（品番：BT37658001）
（電池使用開始日記入ラベル付属）

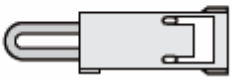




9．4 オプションパーツ(別売)

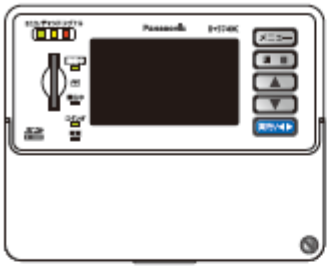
● エネミエール S 仮設置用マグネット（2コ入）
（品番：BT 37697001）

● CT 2次側短絡コネクタ（1コ入）
（品番：BT 37751001）



11. 梱包内容

● 本体（BT3740K）

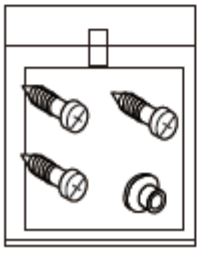


● CD-ROM（1枚）

● 取扱説明書〔簡易版〕（1枚）　兼保証書

● 施工説明書〔簡易版〕（1枚）

● 取付けねじ(3本)･ダルマ穴用カラー(1コ)
電池使用開始日記入ラベル（1枚）



＊ 本体端子カバー内に同梱されています。

● SDスロット保護用ダミーカード（1コ）

＊ 本体SDメモリーカードスロットに装着されています。

付属の取付ネジは、M3.8×18　木ネジ　です。
木ネジでは適切でない箇所に取り付ける
場合には、別途ネジをご用意ください。

12. 部材互換対応表

■表示設定ユニット・増設ユニット・異種系統ユニット

2014年4月現在

ご注文品番	品　名	エネミエール S（通信機能付） BT3740K
BT3721	表示設定ユニット	×
BT3722	増設ユニット	×
BT37201	異種系統ユニット	×

■CT

ご注文品番	仕　様	エネミエール S（通信機能付） BT3740K
BT37065K	50 A	○
BT37061K	100 A	○
BT37062K	250 A	○
BT37064K	400 A	○
BT37066K	600 A	○
BT3705	5 A	○ ※1
BT3705WH ※2 「環境耐性強化タイプ」	/5 A	○
BKF＊＊＊CT BKF2＊＊＊CTT	カンタッチブレーカ CT内蔵	×

※1：CTケーブル「BT372330WH/BT372350WH」との組合せを除く。
※2：CT「BT3705WH」をご使用でCTケーブル長さが10 m以上の場合は、
品番末尾「WH」のCTケーブルとセットでご使用ください。
環境耐性⇒強磁界耐性、ケーブル 30・50 m対応

■CTケーブル

ご注文品番	仕　様	エネミエール S（通信機能付） BT3740K
BT37231	1 m	○
BT37232	2 m	○
BT37235	5 m	○
BT372310	10 m	○
BT372320	20 m	○
BT372310WH	10 m	○
BT372320WH	20 m	○
BT372330WH ※3	30 m	○ ※3
BT372350WH ※3	50 m	○ ※3

※3：5 A CT「BT3705」との組合せを除く。

13．バックアップ電池の交換

■バックアップ電池の交換方法
（推奨交換時期は、ご使用開始から約5年です。）

①交換用バックアップ電池(品番:BT37658001)をご購入ください。
②設定データやロギングデータをSDメモリーカードにバックアップしてください。
③計測電源を切ってください。
④端子カバー固定ネジを緩め、端子カバーを開けてください。

⑤バックアップ電池のコネクタを外し、新しいバックアップ電池と交換してください。

⑥新しい電池に付属の
「電池使用開始日記入ラベル」に
ご使用開始日を記入し端子カバーの
裏に貼り付けてください。
⑦端子カバーを閉じ、固定ネジを
締めてください。
⑧計測電源を入れてください。
⑨時刻を合わせてください。
⑩基本設定の内容を確認してください。

注）取外した電池は普通のゴミと一緒に捨てないでください。
環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池のリサイクルに
ご協力ください。

14．安全上のご注意

(1)施工時には必ず電源を切ってください。
感電のおそれがあります。

(2)この装置を分解･改造しないでください。
火災･感電･故障の原因になります。

(3)開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災･感電･故障の原因になります。

(4)1次電流通電中は、CT2次側を開放しないでください。
感電やCT故障の原因になります。

(5)水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
火災･感電･故障の原因になります。

(6)直射日光の当たるところや温度の高いところに設置しないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。

(7)振動･衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。
落下して、ケガ･故障の原因になります。

(8)この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう
確実に取り付け・設置してください。
ケガ･故障の原因になります。

(9)配線後は必ず端子カバー（端子カバー固定ネジ）を閉めてください。
感電・火災の原因になります。

(10)異常を感じた場合は、速やかに電源を切り販売店にご相談ください。
火災・感電の原因になります。

(11)240Vを超える電圧回路の測定はしないでください。
発熱・発火の原因になります。

(12)計測電源端子への配線には、ブレーカなどの配線保護機器を設置ください。
電気事故の原因になります。

(13)インバーターの２次側回路の測定をしないでください。
発熱・発火・故障の原因になります。

(14)耐熱シール剤などで配線孔と電線のすきまを埋めてください。
虫や小動物などが侵入し火災の原因となります。

15. 使用上の注意

(1)逆潮流※ する電力（マイナス電力）は測定できません。
この場合、測定電力値は0.0 kWになります。
※逆潮流：太陽光発電などの分散電源により、負荷側から電源側方向に電流が流れること。

(2)溶接機など断続的にしか電流が流れない負荷は、正確に計測できないことがあります。
この場合は、電力量計をご使用ください。

(3)次の箇所を計測する場合には、計測仕様の許容誤差範囲を超えることがあります。
・電流値が極端に小さい箇所
・電流が歪んでいる箇所
・力率が低い箇所
・強磁界がある箇所

(4)力率演算は平衡負荷を前提とした方式です。
不平衡負荷では力率の誤差が大きくなる場合があります。

(5)お知らせ機能は「パルス入力」には対応していません。

(6)次のような場所では使用しないでください。寿命の低下、動作不良の原因になります。
・周囲温度が−10～＋50 ℃の範囲を超える場所
・湿度が80 % Rhを超える場所または結露する場所
・日光が直接あたる場所
・腐食性ガス、ほこり、塩分、油煙の多い場所
・振動、衝撃の多い場所
・雨、水滴がかかる場所

(7)ラジオ・テレビ受信機の近くで使用すると雑音などの受信障害を引き起こす場合があります。
家庭内電気設備からできるだけ離して接地してください。

(8)CTには極性があります、取付方向を間違えると、正しく計測できません。
計測用CTは1次電流通電中は2次側開放しないでください。
感電の原因やCT故障の原因になります

(9)定格電流設定をしてCT未接続の場合は、ノイズなどの影響により電力量、電流電力の値が
“0”にならない場合があります。
CT未接続の場合は、「NO-CT」設定にしておいてください。（初期設定は「NO-CT」）

(10)計測開始後運用開始前には計測データが記録できているか
SDメモリーカードのデータを必ずご確認ください。

(11) SDメモリーカードについて

・SDメモリーカードを取出したときは、付属のSDスロット保護用ダミーカードを常に差込んでください。
異物や粉塵などが入り込み、不具合の原因になります。
・SDメモリーカードスロットに対応メディア以外を差込まないでください。
機器損傷の原因になります。
・記録できるデータの量は、SDメモリーカードの残容量に依存します。
（1ヶ月分のデータ容量は約6MB）

書込み続けてSDメモリーカードの残容量がなくなった場合には、以降の書込みを停止し、
SD書込みエラー〔SD書込中ランプ（LED)が点滅〕になります。SD書込みエラーと
なっていないか、または残容量があるかを定期的に点検してください。

・SD メモリーカードの保存済データの損失につきましては当社は一切その責任を負いかねます。
（保存済データは、定期的にパソコンなどへバックアップされることをおすすめします）

＊SD メモリーカードの保存済データ損失の可能性がある行為
①使用方法を誤った場合
②静電気などのノイズの影響を受けた場合
③SD 書込み中にエネミエール S 本体の電源が遮断された場合

(12)時計設定について

本器に内蔵されている時計の精度は約±1分/月（25 ℃環境において）です。
正しいエネルギー管理のため、定期的に時計の再設定をしてください。

(13)集計日時設定について

使用中に集計日時の変更を行なうと、月別データの締め時間が変更されるため
「前月データが消去される場合があります。」
使用中に集計日時の変更をする場合は、SDメモリーカードなどで
計測データのバックアップをとってから行ってください。

(14)ロギング（計測）仕様について

計測を停止する条件は「基本設定モード中」「応用設定モード中」です。
ロギング中に時計設定を変更する場合、設定内容変更中は計測停止しません。

(15)ネットワーク（通信）について

パソコンを接続しデータ収集するには、必ず専用の上位システムが必要です。
接続方法など詳細は上位システムの仕様をご確認ください。

(16)本器は精密機器のため、運搬時には衝撃を与えたり、落下しないようご注意ください。

(17)バックアップ電池について

・設置完了後、ご使用になる前（計測開始する前）に必ず、電池接続確認をしてください。
電池が接続されていないと、データ（時計、計測データ）がクリアされてしまう場合があります。
『電池のご使用開始日』を添付のシールにご記入いただき、貼り付けてください。
・バックアップ電池の推奨交換時期は、ご使用開始から約5年です。
電池が消耗すると、データ（時計、計測データ）がクリアされてしまう場合があります。
・電池を廃却する時は、普通のゴミと一緒に捨てないでください。
環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池のリサイクルにご協力ください。

(18)本器を廃却するときは、産業廃棄物として関連する法律に従って適切な処分をしてください。

16. 品質保証について

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

(イ)無料修理をご依頼になる場合には、商品に保証書を添えていただきお買上げの販売店にお申しつけください。
(ロ)お買上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お近くのお客様ご相談窓口にご相談ください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買上げの販売店またはお近くのお客様ご相談窓口にご相談ください。

3. ご贈答品などで保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

(イ)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
(ニ)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
(ホ)保証書のご提示がない場合
(ヘ)保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ト)持込修理の対象商品を直接お客様ご相談窓口などに送付した場合の送料などはお客様の負担となります。また、出張修理などをおこなった場合には、出張料はお客様の負担となります。

5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

6. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7. お近くのお客様ご相談窓口は同梱紙の一覧表をご参照ください。